

いも類

ばれいしょ(野菜類・いも類)

病害虫	防除方法	防除上の注意事項
ウイルス病	1. 種いもは採種ほ産の無病種いもを使用する。 2. 虫媒伝染するウイルスに対してはアブラムシ類の防除を行う。	

かんしょ(野菜類・いも類)

病害虫	防除方法	防除上の注意事項
黒あざ病	1. 種いもは健全いものみを使用し無病の苗床用土を使用する。 2. 採苗時の苗は根元を5cm以上残し、高切りとする。 3. 貯蔵するいもは必ず健全で傷のないものだけとし、前年発病した貯蔵穴は使用しない。 4. 常発地では種いもや苗は次の方法で消毒する。 種いも温湯消毒：47～48℃の温湯に種いもを40分間浸漬する。	1. 主として種いもから伝染するが、ほ場では野ネズミ、ハリガネムシによる媒介が大きいので、これらの防除も必要である。 2. 温湯消毒は温度及び浸漬時間を厳守し、消毒後種いもの冷えないうちに熱の上がっている苗床に伏せ込む。 3. 排水不良畑を避けて高うね栽培を行い、有機質肥料やアルカリ性肥料の多用を控えることも効果がある。
斑紋モザイク病	1. ウイルスフリー苗を植える。 2. アブラムシ類の防除を徹底する。	

さといも(野菜類・いも類)

病害虫	防除方法	防除上の注意事項
軟腐病	1. 発病地での連作を避け、イネ科作物と輪作を行う。 2. 発病株は速やかに除去する。 3. いも類の軟腐病に適用のある殺菌剤を散布する。	1. 発病地では赤芽いもを栽培すると被害は少ない。
キノコバエ類	1. 発生地では収穫後直ちに収納する。	1. キノコバエは収穫後放置したイモに産卵し、貯蔵期間中に幼虫が発生して食害する。

やまのいも(野菜類・いも類)

病害虫	防除方法	防除上の注意事項
斑点病	1. 多発ほ場では連作を避け、イネ科作物などと輪作を行う。	1. 窒素肥料の過用を避けカリ肥料を十分施す。